

防犯ガラスについて



製品のご採用にあたっては、「ガラスを安全に、大切にお使いいただくために」、各製品ごとの「設計上のご注意」、「施工上のご注意」等を十分にご理解のうえ、製品の選定、施工法をご検討ください。

●板硝子協会が定めた防犯ガラスの基準



ガラスメーカーによって構成される板硝子協会では、ガラスの防犯性能に関する「板硝子協会基準」を策定しています。これは現在公開されているガラス破りの侵入手口のなかで、最も割合の多い2つの手口である「打ち破り」、「こじ破り」を対象に試験を行い、ランク付けしたものです。

「打ち破り」については重さ4.11kg鋼球を落下させるもので、1500mm～9000mmの間で落とす高さを変えて、それぞれの高さに対する抵抗のランク付けを行っています。

「こじ破り」については、ドライバーによるこじ破りを実施し、クレセントを外して外障子を開けるまでの時間を測定し、ランク付けをしています。

ガラス建材総合カタログ技術資料編 P.124 に示した詳細の性能ランクで「打ち破り」に対してのP2A以上、「こじ破り」に対してP2K以上を満たすガラスについて、同協会では、「防犯ガラス」と呼称しています。

このほか官民合同会議で「防犯性能の高い建物部品」に掲載されたガラスについても「防犯ガラス」と呼称することを認めています。

●官民の厳しい試験に合格した証、CPマーク



「防犯性能の高い建物部品の開発・普及に関する官民合同会議」は、警察庁、国土交通省、経済産業省といった省庁と、住宅生産団体連合会、板硝子協会、日本ウィンドウ・フィルム工業会、日本サッシ協会、日本ロック工業会などの民間団体が参加する官民を横断した組織です。この会議では、住宅部品メーカーが開発した防犯部品について、防犯のプロがさまざまな侵入手口を想定した試験を実施し、合格したものを「防犯性能の高い建物部品目録」として掲載、公表しています。試験は、想定される手口について5分以上耐えられることが基本的な条件で、試験を合格した部品について統一マークの「CPマーク」の貼付が許可されています。

2006年4月から住宅性能表示制度の表示項目に「防犯」が新たに追加され、「侵入を防止する性能」が確かめられた部品を開口部に使用している場合は防犯対策を行っている開口部であると表示できるようになりましたが、「防犯性能の高い建物部品」を活用すればその性能をクリアできます。

防犯ガラスセキュオの防犯性能仕様基準 ※詳細はガラス建材総合カタログ技術資料編 P.124をご参照ください。

【こじ破り手口】に関連付けられる防犯性能 ドライバーなどで音を出さないようにガラスを破壊し、まわりに気づかれないよう、密かに侵入しようとする事。 ↑より防犯性能が期待できる	P3K	セキュオペア30		セキュオ60 セキュオペア60	セキュオ90/SP/PY セキュオペア90/SP/PY
	P2K	セキュオ30			
	P1K				
		P1A	P2A	P3A	P4A
	→より防犯性能が期待できる				
	【打ち破り手口】に関連付けられる防犯性能 破壊音をあまり気にせずにガラスを破壊し、住人や警備員などが駆けつける前に、数分で目的を達成しようとする事。				

※この仕様基準は実験値として示されたものを一覧表にしたものであり、各ガラスの性能を保証するものではありません。
※防犯ガラスに期待できることは、侵入行為に抵抗する時間の延長であり、執拗な破壊および犯罪行為には万全ではありません。
※防犯性能の高いサッシや補助錠の併用をお奨めします。※セキュオSP、セキュオPYは自社試験に基づきます。

真空ガラス
複層ガラス
防耐火ガラス
防炎・防犯ガラス
強化・信強度
合わせガラス
機能特殊ガラス
熱吸・熱反射
板ガラス
装飾ガラス
鏡・カーガラス
板ガラス応用施工法
設計・施工・使用上のご注意
ガラスの性能
製品一覧